

# がんばれ!! サラリーマン健康ドック

通常1週間入院

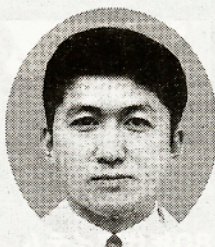
足がむくむ、痛む、疲れる—などの症状は「年のせい」と考えがちだが、その裏に「下肢静脈瘤」という疾患が隠れていることがある。生命にかかわる深刻なものではないが、症状は決してラクなものではない。

「症状にもよるが、放置して自然に治るわけではないので、手術などの治療を受けるべき」と話すのは、東京・渋谷区の北青山デイリークリニックの阿保義久院長。写真。通常一週間程度入院を必要とする下肢静脈瘤の手術だが、同院では日帰り手術で対応している。下肢静脈瘤とはどんな

## 下肢静脈瘤

## 日帰り手術で治る!!

病気なのか。心臓から出た血液は、動脈を通じて体内の各部位に運ばれ



上げなければならぬ。そのため血管内の数箇所閉じることにより逆流を防いでいる。ところが加齢やホルモンの作用により、この弁が機能不全に陥ることがある。その結果、果静脈内に血液がうっ滞、血管が膨らむ

血液がうっ滞、血管が膨らむ。そして「使用後」の血液が再び心臓に戻る血管が静脈だ。下肢静脈とは、その名の通り、足を走行する静脈のこと。足の静脈は通常心臓より位置が下になるため、血液を引力に逆らって上に持ち

る。そして「使用後」の血液が再び心臓に戻る血管が静脈だ。立ち仕事の人管が膨らむ。下肢静脈とは、その名の通り、足を走行する静脈のこと。足の静脈は通常心臓より位置が下になるため、血液を

行する表在静脈があり、ほとんどの静脈瘤

訪れるケースも多い。大勢に影響はない。事前の検査で深部静脈のほうに欠陥があれば、表在静脈を抜いてしまおう。履いて外側から圧力をかけて血行を促すが、症状がひどい場合は手術が必要。病院では一週間程度入院が必要となる。ストリッピング

目からOK)、術後5日間の禁酒、術後2カ月間の弾性ストッキング着用、半年から一年間の通院などを守ること。これが守れる人だけに日帰りの手術に依っている

足がむくみ、痛い...「年のせい」ではないですか?

むくみや痛みだけでなく、症状が進むとすねの裏側に静脈瘤による膨らみがあらわれてくる。見た目を気にして治療に

術後5日間禁酒、通院半年〜1年

という、表在静脈そのものを抜き取ってしまう。術で対応する。阿保院長は、「一週間は風呂を我慢する(シャワーは二日

(長田昭二)